



2nd STAGE
男声合唱組曲
「中 勘助の詩から」

I 絵日傘
II 椿
III 四十雀
IV ほほじろの声
V かもめ
VI ふり売り
VII 追羽根

作 詩：中 勘助
作 曲：多田武彦
指 揮：広瀬康夫

2nd STAGE

多田武彦 作曲

男声合唱組曲 「中 勘助の詩」から

◆作曲者のことば

この組曲は、関西学院グリークラブが昭和34年(1959)に初演した委嘱作品。かつて、作曲者の多田武彦氏からメッセージが寄せられている。以下はその抜粋。(新月会60周年記念演奏会〈平成6年〉プログラムより)

「私の三番目の弟が関学グリーにいたご縁で、組曲を作ることになった。初演では、関学グリーが素晴らしい中勘助の世界を繰り広げてくれた。関学グリーから贈られたテープをダビングして中勘助先生にお送りしたところ、無伴奏男声合唱を初めて聴かれた先生は、このモノトーンの美しさと関学グリーの名演奏に大変感動された。特に「追羽根」を感慨深く聴かれたそうだ。

◆中勘助の略歴

- 明治18年(1885) 岐阜県今尾藩士の父勘弥、母鐘の五男として東京神田の藩邸内で生れる。長男、三男、四男は夭折。兄金一のほか姉二人、妹二人。
- 明治42年(1909) 25才。東京大学国文科卒。九大教授・兄金一、脳溢血でたおれる。以後、嫂の末子と家の重荷を背負うことになる。兄との葛藤いっそう深刻化する。
- 大正02年(1913) 29才。「銀の匙」が夏目漱石の推薦で朝日新聞に連載される。
- 昭和17年(1942) 58才。島田正武の長女和子(42才)と結婚。挙式当日、兄金一死去。
- 昭和40年(1965) 81才。朝日文学賞を受ける。5月3日、くも膜下出血のため死去。